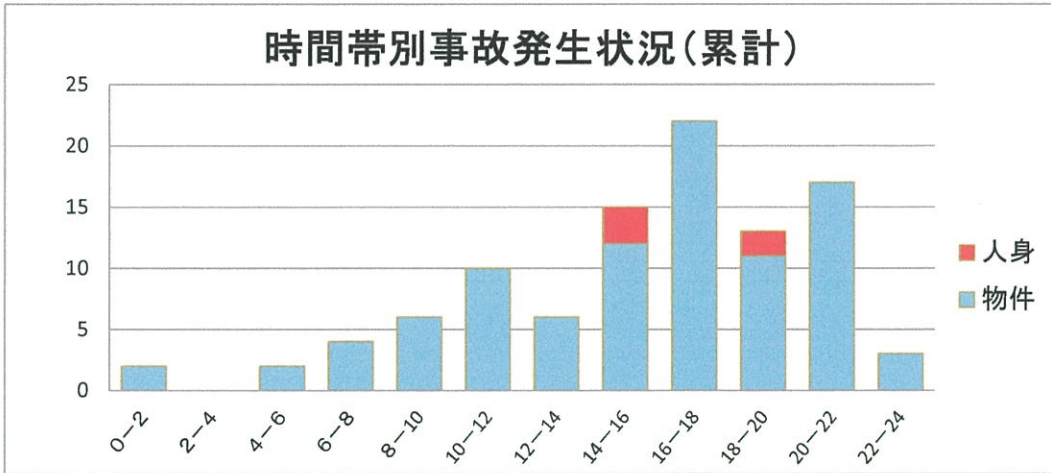
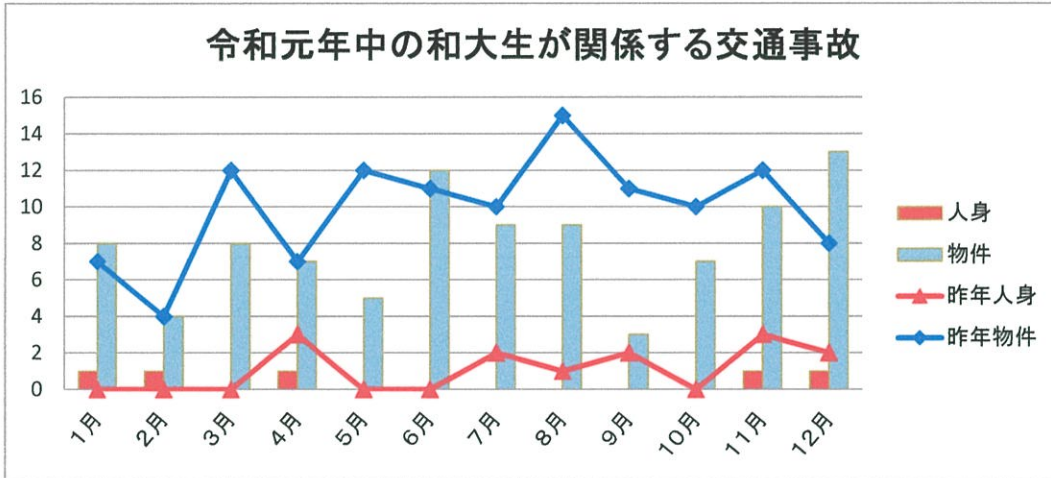


和大生が当事者となる交通事故件数

12月単月		本年累計		昨年同期		増減率	
人身	物件	人身	物件	人身	物件	人身	物件
1	13	5	95	13	119	-61.5%	-20.2%

和大生が当事者となる交通事故の主な概要

事故態様(12月) 赤字が和大生			
車単独	駐車場内で後退中、後方の駐車車両に衝突	車単独	駐車場内で後退中、後方の駐車車両に衝突
車×車	駐車場内で後退中、後方で停止中の車に衝突	車×原付	前車の後方で停止中、後退してきた前車と衝突
原付×車	前方を走行中の車両に追突	原付×車	点滅信号の交差点を直進中、右方から進行してきた相手車と出会い頭で衝突
車×車	交差点を直進中、対向車線から右折してきた相手車と衝突	車×原付	狭隘な道路を相手車に続いて走行中、対向車を交わすため後退してきた相手車と衝突
車×歩行者	横断歩道を歩行中、交差点に進入してきた相手車と衝突	車×軽二輪	路外施設から道路へ右折で進入する際、右方から進行してきた相手車と衝突
車単独	駐車場内で後退中、後方の駐車車両に衝突	車×軽二輪	交差点を直進中、対向車線から右折してきた相手車と衝突
軽二輪×軽二輪	構内を進行中、前方で停止中の相手車に追突	車×原付	原付で直進中、前方の交差点を左折する相手車と衝突



<和歌山北警察署より>

和大生が関係する昨年中の管内での交通事故は、累計で人身、物件とも減少はしましたが、12月単月では、人身事故が1件、物件事故が13件の計14件の交通事故が発生しており、これは、1年を通して最も事故が多発した月でした。当月は、駐車場内での事故や後退してくる相手車両と衝突するケースが多く、交差点での右直事故や出会い頭事故も発生しており、事故当時における運転車両は大半が二輪車でした。二輪車の特性として、

- ① 不安定な乗り物ゆえ、僅かな操作ミス・衝突で転倒しやすく、また、衝突時、身体へのダメージが大きい
- ② 四輪車に比べ車体が小さいため、相手から見落とされやすい
- ③ 路面の凹凸等が気になって視野が狭くなり、前方の危険に気付くのが遅れやすい

等が上げられます。二輪車運転中は、走行速度に十分注意するとともに、周りの車両の動きをよく見るなど、安